

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 令和5年7月18日 No,15 文責 渡邊

## 令和5年度「防災教育連絡会議」を開催しました！

令和5年7月13日(木)に、桑村小学校区の区長、防災担当、学校応援団(コミュニティ・スクール)、町役場総務課防災担当、教育委員会学校教育課担当、二葉こども園長、校長、教頭が参加し、令和5年度「防災教育連絡会議」を開催しました。

この会では、学校と地域が防災教育について協議し、大規模地震等の災害に対する児童の防災対応能力の向上とともに、地域における学校(※こども園含む)と自主防災組織、そして、町の防災担当部局との連携を目指しました。



【防災教育連絡会議の様子①】



【防災教育連絡会議の様子②】



【防災教育連絡会議の様子③】

学校からは、今年度4・5年生が新たに取り組んだ「防災キャンプ」について説明しました。



【防災キャンプ①】



【防災キャンプ②】



【防災キャンプ③】



【防災キャンプ④】

町の防災監からは、親子で一緒に防災訓練に参加する大切な意味を教えてくださいました。顔の見える関係を作ることがこれからの地域コミュニティでは重要なことであるということです。この関係性の構築がこれからの社会では必要となるのです。どうかこれから各地区で実施されます地域防災訓練には親子で参加するようにしましょう！

そして、「避難所」と「避難場所」の違いについても確認しました。6月の大雨の際、本校の体育館は「避難場所」として開設されました。このとき、桑原区長さんと大竹区長さん、そして同区の防災担当の方は桑村小学校に避難の様子を見に来られたとのことでした。本校の教頭も駆けつけましたが避難者は一人もいませんでした。しかし、そのとき感じたことが、避難をする際には食料(飲料水を含む)を持参しなければならないということです。「避難場所」では基本的に食料等の提供がないからです。

普段から、親子で災害が発生したとき、どういう行動をするのかを決めておくことが大切だと思われま